



西尾いきものふれあいの里だより

6月号

2025.6.1 発行

さとやま

6月の里といきもの



今年の5月は下旬に入り、梅雨前線が北上して「梅雨の走り」のようなぐずついた天気が続き、晴れた時には夏日に迫る蒸し暑い日になることもありました。6月には本格的な雨の季節となります。

この時期外せない里の風景は**ハナショウブ**です。アヤメ科の多年草で、様々な品種のものがあり、紫、青、白、そして淡いピンクなど色とりどりですが、花の中心部にある黄色い模様でアヤメやカキツバタと見分けることができます。

半日蔭の場所では、**ドクダミ**が花盛りです。ドクダミ科に分類される多年草で、湿り気のある日陰を好みますが、日なたや乾いた土地にも適応できるとも強い植物です。

花卉のように見える白い部分は葉が変化した「苞葉」と呼ばれるもので、花を囲む役割を果たしています。本当の花は苞葉の中心にある黄色い細かい部分で、たくさんの花が集まっています。この部分と苞葉で1つの花のように見えます。





花が終わると、苞葉は落ちて、1つ1つの花に種ができますが、そこから新しいドクダミが育つことは自然界ではそれほど一般的ではありません。地下茎を伸ばして新しい芽を出すのが主な繁殖方法です。そのため、群生しやすいのが特徴です。

ドクダミは全体から独特な強いにおいがします。そのため駆除の対象になりますが、地下茎は切断されてもそこから芽が出てくるので、根絶するのは大変なようです。

とはいえ別名「十薬（じゅうやく）」と呼ばれるほど様々な薬効があり、解毒・抗炎症・利尿・抗菌・殺菌・美容・消臭など様々な効果があります。乾燥させてお茶にしたり、葉を揉んで貼ったり、生食したりして利用されています。

6月はこんな生きものも見られます

ビオトープ上の池には、ドクダミ科の**ハンゲショウ**も群生して咲いています。花の集まりの下には、苞葉ほど発達していませんが、白く変色した葉があります。この葉は、花が終わるとまた緑色に戻ります。

菖蒲園の横の柿畑の下には、**カラスビシャク**の変わった形の花が見つかります。こちらはサトイモ科ですが別名「ハンゲ」と呼ばれ、ハンゲショウ（半夏生）とともに七十二候の「半夏（ハンゲ）」（6月末ごろから7月初旬）に花をつけます。

ビオトープ付近などでは、ラン科に分類される**ネジバナ**のピンク色の小さな花が、茎に沿ってらせん状に咲く姿が見られます。ねじれた模様を表す「もじずり」の名で、万葉集にも登場し、恋模様を象徴するような詩情豊かなエピソードがあります。



センター裏のエアコンの室外機の近くには、絶滅が危惧されているオオバコ科の**キクガラクサ**の花が咲きます。葉が菊に似ていて、全体の様子が唐草模様を思わせることから名がつけられました。

センター裏の流れの向こう側と、田んぼエリアの上の道には、**シャシャンボ**のかわいい釣り鐘型の花が見られます。ツツジ科に分類される常緑低木で、秋に実る実はブルーベリーに似て食べられます。

田んぼエリアの里芋畑の近くなどで、キキョウ科に分類される、**キキョウソウ**の青紫色の小さな花が咲いています。外来種ですが、花の姿は秋の七草のキキョウによく似ています。花茎の下から上に順に咲いていきます。

里のあちこちでたくさん咲いている赤紫の花は、キク科の多年草の**ノアザミ**です。アザミの仲間は、春に咲くものと秋に咲くものがあります。秋には、里では**スズカアザミ**が咲きます。ノアザミの方が、花茎につく集合花が少なく、スズカアザミは、よく枝分かれしたたくさんつきます。

ノイバラもあちこちで見られます。バラ科の落葉低木で、日本の野ばらの代表的な種類です。秋に実る赤い実はローズヒップとして、ハーブティーやジャムの材料に使われることがあります。

トンボの里の湿地では、**ゴウソ**が群生しています。カヤツリグサ科の多年草で、水辺や湿地帯を好みます。大きく膨らんだ小穂が特徴的ですが、茎の先端には細い小穂が1つあり、それが雄性で花粉を飛ばし、他が雌性で種子ができます。



トンボの里や、万灯山へ向かう道、蝶の小径では、**コクラン**の花が咲きます。ラン科の多年草で、背丈が低く、控えめな姿をしていますが、和蘭として独特の魅力があります。

また林縁では、**テイカカズラ**の白やクリーム色のプロペラのような花が、甘い香りを漂わせてたくさん咲きます。キョウチクトウ科に分類されるつる性常緑低木で、観賞植物として人気があり、フェンスや壁面緑化に利用されます。

万灯山に向かう道で、**サカキ**の花が咲いているのに出逢うことがあります。モッコク科の常緑小高木で、枝は神棚や祭壇に供えられたり、庭木に利用されます。



野鳥の森や桜並木道ではアジサイに似た**イワガラミ**の花が木に絡まって咲いています。アジサイ科の落葉つる性木本で、よく見ると装飾花のがくの枚数がアジサイとは違い1枚です、ぜひ観察してみてください。

よい香りに誘われて長円寺の境内に入ると、**ボダイジュ**の変わった付き方の花を目にします。アオイ科の落葉高木で、ブツダが悟りを開いた熱帯性の菩提樹（インドボダイジュクワ科）とは別の種です。葉が変化した細長い苞葉から、花が房状につきます。

日当たりのよい場所では、**ウラギンシジミ**の雄が地面で吸水しているのに出逢うことがあります。裏は銀色、表は雄が鮮やかなオレンジ色、雌は水色の紋があります。

梅雨の晴れ間、こんないきものを探して里を散策してみませんか。

5月の行事紹介



5月18日(日)に「棚田でお米を作ろうI(田植え)」を開催しました。講師から苗の植え方を教えてもらい、みんなで棚田に入りました。初めは歩きにくかったけれど、田植えの目印の線に沿って3~4本ずつ植えることができました。作業後は泥だらけになった体を、棚田の横を流れる冷たい小川でさっぱり洗い流しました。

次回の秋の収穫が楽しみです。おいしいお米ができることを期待して、帰りました。ぜひ次回も参加してね!

6月の行事予定

8日(日)	草木染にチャレンジ!!	20名	AM9:30~11:30	磯貝はるみ
-------	-------------	-----	--------------	-------

内容 ~日本で昔から行われてきた草木染。身近な草木を用いて、伝統文化に触れるとともに、植物の持つ色を楽しんでみましょう。(材料費:300円)

22日(日)	里山の草を使って、色々作って遊みましょう	20名	AM9:30~11:30	河江喜久代
--------	----------------------	-----	--------------	-------

内容 ~里山を歩きながら、シロツメクサ、タンポポ、ツバキ、クズの葉など採集して、花冠、笛、お人形など作って遊びます。(大人の方だけの参加 大歓迎です!)

7月の行事予定

13日(日)	梅雨時のキノコたちを観察しよう	20名	AM9:30~11:30	石川まゆみ
--------	-----------------	-----	--------------	-------

内容 ~森の妖精のようなかわいいキノコたちを西尾の里山で探してみませんか?
梅雨時にも意外とキノコはありますよ。一緒に探してみましょう!

26日(土) 27日(日)	夏の昆虫を探そう	各日 30名	AM9:30~11:30	当園職員
------------------	----------	-----------	--------------	------

内容 ~里山の自然の中を散策しながら、どんな昆虫がいるか探します。カブトムシやクワガタなどの昆虫の探し方やつかみ方を実践します。

トンボやアゲハチョウなどを、タモを使って採取し、観察後に自然に戻します。

※両日とも受付開始は7月5日(土)からで、両日の申込みはできません。

- ◇ 参加受付は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその同居家族までとします。なお、申込者が4名以下の場合には開講しません。
- ◇ 参加申込者は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◇ 当日の天候により、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、参加費は無料ですが、講座により材料費は実費を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ 各講座の詳細な内容については、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始[12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課